

募集

白石の魅力を区民の皆さんに再発見してもらおうと開催した「しろいびな風景写真コンテスト」。4回目となる今回は、「笑顔になる白石」をテーマに、昨年6月から10月にかけて区内の風景写真を募集しました。

白石サイクリングロードや川下公園のほか区内各所で撮影された、情感あふれる写真が区内外の34人の方から寄せられ、75点の作品が集まりました。

審査

応募いただいた作品は10月下旬から11月上旬にかけて、白石区役所や白石区民センターに展示し、来場者による投票を実施しました。14日間の展示期間中175人から計462票の投票があり、得票数の多い31点が入賞候補作品として選出されました。

その後、最終審査として11月22日に審査員5人による審査会を開催。厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞3点、特別賞4点の8点が入賞作品として選ばれました。

表彰

12月6日、最優秀賞と優秀賞の受賞者に堀口洋一白石区長からガラス製の表彰楯が手渡されました。



▲表彰式にて。左から林暁美さん、林洸さん、堀口区長、伝法さん、中西さん



▲審査会の様子



▲市民投票の様子

審査員総評

岸本 日出雄さん (写真家)

(社) A P A 日本広告写真家協会正会員
日本写真芸術学会 会員
㈱札幌コマーシャルフォト代表取締役
2012写真道展招請審査員



広告、雑誌、カレンダーを中心にモデルから自然、野生動物、航空撮影まで手掛けている。北海道、札幌市などの観光ポスターに採用され、北海道の魅力を東南アジアにも発信している。

昨年度と比べ、単なる風景ではなく人物を中心に据えた作品が多く、ほぼ笑ましい情感たっぷりのシーンが目を引き、入賞作品を選びながら癒されました。ただし、人物の気持ちが前面に押し出されているような、表情豊かな写真に出合えなかったので少し残念に思いました。当然スナップ写真が多くなるのは分かりますが、斬新なアングルで狙うなど、もう一歩踏み込んだ工夫がほしいと感じました。募集時期がネックになっているのか、季節が限定されてしまっているようです。北海道の生活で大きなウエイトを占めるのは冬。ぜひ白石での冬を満喫しているショットも期待します。

今年も写真コンテストを開催する予定だよ。
白石区には四季を通して魅力的な風景がいっぱい！
光を受けて輝く雪景色や寒さに負けないまちの活気、
春を待つ木々など隠れた魅力がまだまだあるはず。
見つけたら、カメラに収めてぜひ応募してね！

四季折々の

しろいびな風景 を募集しています。

区内で撮影した風景写真を随時募集しています。ご応募いただいた写真は、広報さっぽろ区民のページや区役所ホームページなどで紹介します。募集要項は、区総務企画課広報係と区内各まちづくりセンターで配布しているほか、区役所ホームページに掲載しています。



マスコットキャラクター「しろっぴー」

